

平成29年7月12日

<家庭数>

山野小 PTA 会員の皆様

世田谷区立山野小学校

PTA 会長 植木優介

家庭教育学級委員長 岩木 恵

## 平成29年度 第一回家庭教育学級開催報告書

盛夏の候、PTA 会員様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度第一回家庭教育学級を去る7月3日に開催いたしました。

講師にお片づけカウンセラーの橋口真樹子先生をお招きし、『ママがご機嫌でいられるお片づけのコツ』というテーマのもと、整理収納を通じて、家族の笑顔や子どもの力を引き出す方法を講演していただきました。

当日は70名程の大勢の方がご参加くださいました。

以下に内容の一部をご報告いたします。

### 『ママがご機嫌でいられるお片づけのコツ』

—ママの笑顔が家族の笑顔につながる—

- ・「片づけ」は単に部屋をきれいにするだけではありません。
- ・「片づけ」をする中で大切な力が育まれます。

#### 1. 片づけのポイント3つ

##### (1) 「選ぶ力」

小学校の頃は選ぶことで夢を描いたりします。中学校、高校、大学での学部選択と次第に現実になっていきます。これらは全部「選択」です。

小さい頃から片づけにより「選ぶことを学ぶ」こと、間違った選択で失敗することにより、「生きる力を学ぶ」こととなります。

成長するにつれて、自分の価値観に合わせて、大事なものとそうでないものを選択します。

##### (2) 「思いやりと責任感」

他人にやさしく、他人に迷惑をかけないという点は、片づけが伝えやすい場です。

ちらかされると掃除ができないよ、ということをも身をもって経験できます。

##### (3) 「継続」

好きなことはいくらかでも続けられますが、苦手な家事は家族への義務感、責任感を持って続けなければなりません。片づけを通じ役割を教えることができます。

- ・片づけのプロと片づけがうまくいかなくて困る人の違いは、「仕組み」を持つか、持たないかです。

## 2. 仕組みのルール4つ

### (1) 定位置を決める

全部のものに対して定位置を決める。

出しっぱなしでもしまう収納でもよいです。一番苦手な人に合わせて、一番便利な場所に置きます。機能的な導線を作ります。

### (2) 管理できる量を決める

要るか要らないかで決めず、使っているか使っていないか、着ているか着ていないかで決めることが正解です。使っていないもの（おもちゃ、本など）は誰かに譲る方がよいです。

減らす決断をしやすいのは子どもの誕生日やクリスマスなど、一番欲しいものが加わる時です。その物が収まる場所を空けるために片づけることを勧めます。

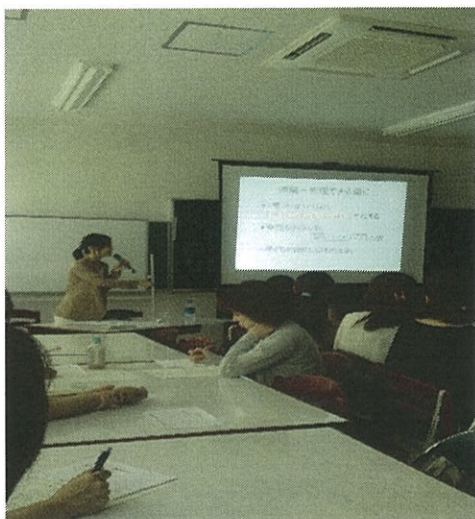
### (3) 収納方法

引き出しは仕切りをつくります。棚は箱やかごで仕切ります。俯瞰したときに中身がわかる方がよいです。

### (4) 子どもと片づけの関わり方

現在の子供の興味に合わせてサポートします。子供のやる気を削がない様、片づけをしてもらいたいタイミングを考えます。

住まいは人が主役であり、目指すのはきれいな部屋ではなく、子どもの成長を楽しむことです。



## ～参加者アンケートより～

- ・お子さんのいる方の、具体的な事例を交えた説明で分かりやすかったです。
- ・片づけだけでなく、片づけを通じた子どもとの関わり方、年齢別の子どもへの声のかけ方が勉強になりました。
- ・片づけの声掛けのタイミングは自分がイライラしている時であったと反省しています。
- ・片づけを手伝ってくれた時こそ、気づいて褒めるということが大切だと解りました。常日頃から子どもの様子を見て、笑顔、ご機嫌でいられる家庭でいようと思います。